

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

血管炎における超音波検査の臨床的有用性の検討

2. 研究の対象患者

血管超音波検査を受けられた方

3. 研究の対象期間

2006年7月1日～2017年12月31日

4. 研究の概要

大血管炎に分類される巨細胞性動脈炎は50歳以上の比較的高齢者に多く、本邦では10万人あたり年間1.47人が発症する稀な疾患である。リウマチ性多発筋痛症を合併することが多く、大動脈に病変を有することもあるが、頭蓋内動脈、特に側頭動脈炎症を認めることが多い。頭蓋内動脈の炎症は時に失明などの視力障害を来すことがあり、速やかな診断およびステロイド剤による治療が必要とされる。診断には1990年に提唱されたアメリカリウマチ学会の診断基準が用いられ、必須ではないものの側頭動脈の生検による組織診断が重要とされる。この側頭動脈生検は侵襲的な検査であり、顔面神経の損傷を来すこともある。また側頭動脈の部分的な炎症の場合は生検を行っても組織学的に有意な所見が得られない可能性もある。近年、MRAやPET検査を用いた側頭動脈の炎症を評価する研究が報告されているが、いずれも詳細な炎症の評価は困難とされる。一方、側頭動脈の超音波検査を用いることにより、炎症の評価および生検部位の同定に有用であると海外から報告されているが、本邦からの報告は非常に少ない。そこで本研究では、過去に当院で施行された側頭動脈超音波検査を後ろ向きに解析することにより、巨細胞性動脈炎における側頭動脈超音波検査の有用性を見出すことを目的とする。

5. 研究実施予定期間

2016年1月20日～2017年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：識別コード、年齢、性別、既往歴、診断名、治療歴、血液検査、画像検査等

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：アレルギー・膠原病内科 加々美 新一郎
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)